

「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

- ・(ひ) 人の話をしっかり「きく」ことのできる子
- ・(や) やさしく 思いやりのある子
- ・(く) くじけず 最後までがんばる子
- ・(た) たくましく 健康な子



<http://www.hyakuta.m-alps.ed.jp/>

一年間の児童会活動を振り返って

2月16日、今年度の児童会活動を振り返り、来年度に向けての児童総会が行われました。6年生は自分たちの思いを下級生に残し、4・5年生は今後のビジョンを示しながらの話し合いができました。新型コロナのため、児童会活動にも制限がかかることが多いのですが、あいさつ運動、月の生活目標、集会活動など対策を講じながらできることをできる範囲で進めていってほしいと思います。



思いを託す6年生



各委員会委員長



新旧児童会本部

南アルプス GIGA スクールにむけて

GIGA (Global and Innovation Gateway for All) スクール構想  
一人一台のコンピュータと高速通信ネットワークを一体的に整備することで、子供たち一人一人の資質・能力をより効果的に育成できる教育 ICT 環境を実現する構想です。学年部会資料に載せさせていただ



いた南アルプス市教育委員会からのチラシをご覧ください（6年生はこれからはなりますが）。南アルプス市では、令和3年度のスタートを目指し、一人一台コンピュータを活用した新しい学びへの準備を進めているところです。この事業によって、学校ならびに家庭での学びの可能性が広がります。学校では、アプリを活用して個別の学習や協働学習を仕組みます。また、様々なコンテンツで分かりやすい授業の創造も可能となります。家庭では、学習コンテンツの活用により家庭学習の充実が図れます。さらに、オンラインによって非常時での学ぶ機会づくりも可能となります。

とはいえ、すぐにすべてができるというわけではありません。また、これまでの学習スタイルを否定するわけでもありません。これまで培ってきた学びの形は大切に残していきます。もちろん人と人とのコミュニケーションの場は、どんな時代になっても重要です。つまり、これからの時代に沿い、これまでの学びの場に加え、ここまで共有として使われていたコンピュータを一人に一台ずつ導入し、学びの幅を広げていこうというものです。ですから、できるところから少しずつ ICT 活用を考え、取り込んでいくこととなります。私たち教職員も、導入に向け研修を積んでいるところです。

## 一人一人の個性を大切にする教育を目指して

先日、本校の図書館司書である井上真美先生が一冊の本を図書室にそろえてくれました。それは、のぶみさんがかいた『きのこほいくえん』という絵本です。

「きのこほいくえんには、いろんなきのこがたくさんいます。そのなかでも、てんてんちゃんはみんなのアイドルなんです」とお話が始まります。実は、保育園のアイドルのてんてんちゃんには秘密があったのです。

てんてんちゃんは「ベニテングダケ」という毒キノコだったのです。

「こんなにかわいいのに」「こんどから、さわらないほうがいいのかしら」「ゲロゲロ、きもちわる」と言われ、てんてんちゃんは、みんなのアイドルだったのに、急に誰も近づかなくなりました。てんてんちゃんは、特徴のある頭の赤色を隠そうとして、いろんな帽子をかぶってみました。

でも、誰も声をかけてくれません。

そんな時、きのこほいくえんにキツネがやってきました。キツネは「かわいいきのこたちがいるじゃないか。ちょっとおやつにたべさせてもらおうかな」と言って、きのこたちを捕まえようと手を伸ばします。

マイタケくんがつかまりました。さあ、どうなるのでしょうか。

「うっぎゃー、おれ たべられちゃうよー」

それを見たてんてんちゃんは、こわくてしかたなかったけど、帽子をぬぎすてて、「マイタケくんを たべるなら……。」

〔 以下省略 てんてんちゃんの最後の言葉 〕

「あたし どくきのこで よかった。」

きのこほいくえんには、いろいろなきのこが集まってきます。「踊っちゃうほどおいしいマイタケ」「体についているヌメヌメがみんなを健康にするナメコ」「どんな料理にも合うブナシメジ」などなど。ベニテングダケのてんてんちゃんも含めて、それぞれの特徴であり個性です。そして、それぞれのきのこに役割があり、それぞれの場所で役立っているのです。

私たち人間世界でも同じことが言えます。一人一人違う特徴があり、それぞれが大切な個性です。百田小のみんなには、ぜひ自分の個性を大切にするとともに、自分がないものや自分より優れていることなどにも意識をもち、友達や周りの人たちから見つけ、学び合うことができればよいなと思っております。集団になると、ともすると個性は埋もれがちになってしまいます。私たち教師集団は、子供たち一人一人の良さを見つけ、伸ばしてあげられるような働きかけを今後も目指していきたいと考えております。学校の図書室に置いてありますので、お子さんが借りてきましたら、ぜひ『きのこほいくえん』を親子で読んでみてください。

